

碩心

題字は松井岳洋筆

No.394

平成21年3月

発行

(社)日本神吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 伊藤岳光

神奈川県葉山町堀内206
Tel/Fax 046-875-3723

個性と癖

副会長 内山岳青

日ごろ教室で指導する際「個性は伸ばし、癖は直す」ことを心がけ、皆にもそのことを話しております。私が担当する渚支部には詩



吟歴の大ベテランの方・中堅の方・新しい方が揃っております。

ベテランにはその人独特の良い吟調があると同時に、長い間に身についた癖もあります。一方、新しい人は基本をしっかり身につける前に人の癖を真似てしまうこともあります。

ところで個性と癖はどう違うのでしょうか。これは詩吟に限ったことではありませんが、総じていえば「豊かな個性」とか「個性を活かす」といわれるように、個性はその人を特徴づけている良き点・長所といえます。

これに対し癖は、習慣的に何気なくやっているものの内で、好ましくないと受け取られるもの・短所です。

何事も基本に忠実でなければなりません。その上で人それぞれの特徴・持ち味が出ます。厄介なのは個性も癖も本人には気がつきにくいということです。

指導者としては自分の吟法にこだわり、押しつけるのではなく、各人が持つ個性的なところは太いに伸ばし、悪い癖は根気よく直すことが大切なことだと思います。

ただ、癖と個性は紙一重でもありますので「角を矯めて牛を殺す」の諺ではありませんが、癖を直しているつもりで、良き個性を殺してしまつては元も子もありません。

吟は指導者に似る、といわれます。自分の悪いところを教室の人たちが真似ていないか、自分と違う個性を殺していないか、私自身常に自省していなければならぬと考えております。

行事予定

第4回詩吟体験会

日時・3月28日(土) 午後1時～2時30分
場所・逗子市民交流センター2F15

鎌倉市詩吟舞連盟春季大会

日時・3月29日(日) 13時開場
場所・レイ・ウエル鎌倉

逗子市詩吟舞連盟春季大会

日時・5月10日(日) 9時30分開場
場所・逗子なぎさホール

神奈川岳風連合会青少年吟道大会

日時・6月7日(日) 10時開始
場所・横浜市港南公会堂

神静地区吟道大会

日時・6月21日(日)
場所・茅ヶ崎市市民文化会館

・独吟(漢詩・和歌)コンクール及び
合吟コンクール並びに一般合吟

碩心会吟道温習会

日時・6月28日(日)
場所・葉山町福祉文化会館大ホール
・連吟コンクール
テーマ吟(春夏・頼山陽)

『詩吟体験教室(Let's Shigi~n!)』

友達と一緒に、詩吟を楽しみました。

『詩吟体験教室』が、2月28日午後1時半より逗子市民交流センターで開かれました。今回は3回目でしたが、30名を越える皆さんが集り、吟じる楽しみを一緒にしました。

「無理なく出せる声で吟じるのが詩吟なんです」と講師の上村岳章先生のお話で、会員に誘われて始めて詩吟の体験に来られた方も、リラックスした様子。

アンケートには「大きな声を出せて気持ち良かったです」などの感想も書かれてありました。

今回の会員以外の参加者は8名。会員の皆さんが、一生懸命に詩吟の楽しさを伝えようとした結果です。これからも、どしどし『体験教室』にお友達を誘いましょう。(普及部)



全国優秀吟者吟道大会

3月8日(日)明治神宮会館で標記大会が開催され、会場は全国各地から多数が参加し、大会場は満席となる盛況の中で行われました。吟者は全国から選抜されただけあって、姿勢正しく、声量豊かで、詩情に溢れ、伸びのある澄んだ声で、素晴らしい迫力で吟ぜられ、うっとり聞き入りました。特に和歌の大きな迫力に驚かされました。

素晴らしい吟でしたが審査講評は更に厳しいものがありました。漢詞の部では、姿勢は全般に良かったが手を横に振り調子をとっている。吟題は自分の好きな吟でなく、自分の声に合った詩情が十分に出来る吟を選定すべきだ。声が高いと思われる人もいた。吟題・作者を言って、間をとった後一節に入ることが必要だ。何人かが「ウ」発音時に「ウン」と聞えた。「国を去つて」(出郷の作)「誤って」(楠公を詠ず)は促音であるので間をとって発音せよ。熟語は離さず続けて発音せよ。和歌の部では、言葉が撃がるべき「今日もまた」(心の鐘)を二つに、「花ももみじもなかりけり」(三夕の歌・みわたせば)を四つに区切っている。余韻は漢詞と同じようにしている。等しい講評がありました。高見

教場自慢その後

東伏見支部 山本新岳

先の本欄で紹介した「友好姉妹支部」のその後の展開を続編としてご報告する。

昨年暮れ12月18日夕刻、初顔合わせを兼ねて高相岳風会所属の「南毛利教場」の吟友7名を葉山相洋閣へ迎え、ようやく第一回合同吟詠大会&懇親忘年会を開催した。

まずは我が教場全員が自己紹介と納吟一吟を詠じ、次に来賓吟友がこれに應じる吟詠大会となった。双方この個性溢れる自己紹介と日頃研鑽の吟詠披露でお互い一挙に打ち解け、続く夜の懇親会では両教場師範が岳風会での旧知であることも効き、全員百年の知己の如く和気あいあいの大宴会となった。

この間、教場間の情報交換の場ともなり、支部同士の提携の意義を改めて実感した。

今回はこの夏、相手の庭先「相模大山阿夫利神社」へ招聘され、また楽しく合同吟道大会で一吟奉納すべく全員精進を重ねている。

この友好提携を永く続けるためにも、お互い岳風会吟道をもり立てたい。



《第一回合同吟詠大会》参加した両教場メンバー

広島における 吟道大会に参加して

顧問 千葉 岳 潤

平成20年、第119回全国吟道大会が広島厚生年金会館において、昨年11月9日開催された。

同地は祖宗範木村岳風先生が吟詠の初放送をされた由緒ある地である。この大会の式典において平成20年度功労者表彰を受ける旨、事前に会長から連絡をうけ、光栄名誉この上なきものと考え大会出席についてお願いした次第である。初日の8日は広島到着後旧呉軍港に向い、夕刻迄戦艦大和の模型の他、現存潜水艦の内外見学、旧海軍の往時の活躍ぶりを知るに足る見学を行った。

二日目は大会日である。私は記念にと碩心会旗手を会長にお願いし磯村副旗手の見事な



旗手をつとめた千葉先生・加藤会長

支援をうけて、どうやら無事任務を果たした。出吟の部は男性、女性ともに大成功だった。

三日目は予想していなかっただけに私にとっては大変貴重な半日となった。

それは関係者のご好意により休館日であるに拘らず急拠開放見学が許可された市内の「山陽史跡館」のことである。午前中ここにおいて勉強やら資料の検討やら、ここでしか見られぬ歴史的古書類を間近に専門員から説明を伺い、かつて勉強した幾つかのことがよみ返ったのである。詳細は紙数が許さず項目を羅列して皆さんの推量にお委せしたい。

一、史跡館を含む土地は藩公から頼家に与えられた土地。

二、この一角に山陽が故あつて脱藩したあと幽閉された室あり。

三、史跡館に日本外史のすべてが残存している。

四、頼の姓は備後の頼兼在で頼金と称していた由来による。

五、三字の姓名は頼春水のととき中国式をとり入れたという。

六、明治の軍人勅諭の元は日本外史であった。

七、頼家の大先祖は葛城王に始まる。

八、今に残る広島食文化は頼家の儒教儀礼を柱とした食慣習に基礎ありといわれている。

想

一色支部 上野 花風

「詩吟の発表会があるのていかか」

「詩吟はわからなからいから」

聞いてもらえてわかる詩吟とは

詩の情景がたつたわる 詩の心がたつたわる

それには自分自身詩をよく読み

言葉一つ一つと大切に

先人が大切にしていた花鳥風月と愛し

時代が変わっても今も感じることの出来る情景

心情を詠った喜怒哀楽を感じとり

今を生きるわれわれに何と伝えていのか

変わらぬものは何であるか

心して向き合おう

そしてわが教室でのこと

吟歴三十年八十路を過ぎた方が

良寛さんの「山路」を何の気負いもなく淡々と

「月が出るのを待つて、その光を頼りに

お帰り下さい」

しみじみとした良寛さんの詩のもつ優しさ

そして吟ずる人の人生と永く続けてきた吟道

それらの織り成す味なのです

全ての愛 笑った数 流した涙など

生きてきた証が人格をつくり

自分自身のもっているものが詩情にする

健やかな日々と大切に積み重ねよう

その様に想えた新しき年明け

支部紹介

元氣印の教場

吟秀支部 市川 邦 岳

6名の会員数は、一人ひとりが独吟を練習するのに丁度いい員数であり、時間内にいつ自分に順番が回ってくるのかという緊張感もまた心地よいものです。休憩時間も忘れ、夢中で乗り降りして時間が過ぎていくことは度々で春の審査には3名の会員の受審を控え、熱のこもった練習がつづいています。

吟秀支部初代の故加藤岳相先生が指導の基本的姿勢としていた「真摯に、前向きに、声は大きく闊達に！」は現在加藤岳芳先生に承継され、より進化した指導が実行され、詩吟の楽しさが一段と感じられる時間です。また、若い会員は先輩の方々の生き方と身近に接することで、対して人生先輩の会員は若い会員に対してゆとりを持った思いやりの眼差しで、そして団塊の世代の私は将来の生き方のシミュレーションのサンプルとして教えていただいている教場です。



横須賀市内唯一の支部 吟秀支部の皆さん(坂本会館にて)

平成21年【碩心会初吟会】会計報告			平成20年 逗子大船地区吟道温習会 会計報告			
	金額(円)	備考		金額(円)	摘要	
収 入	前期繰越金	11,107		地区補助金	70,000	
	新総伝者より	3,000	3名	参加費	169,000	1,000円×169名
	参加賞	561,000	138名×4,000円・ 3名×3,000円(来賓)	懇親会費	124,000	1,000円×124名
	合計	575,107		合計	363,000	
支 出	飲食代	497,279	お弁当141名×2,000円 飲物代他	会場費	37,300	ホール 19,300円 大会議室 18,000円
	式典・懇親会	43,300		付属設備器具使用料	35,600	ホール
	参加賞	12,906	余興参加賞 135個	プログラム代	42,000	200部
	保険	3,686	傷害保険	飲食代	200,122	お弁当175 飲物代他
	運搬費	3,000	看板等運搬費	団体保険	2,560	
	事務・通信費	11,392	コピー・Fax・文具・事務 連絡	会議費・コピー代	4,184	看板用紙代他
	会議費	2,910	担当支部・企画部準備	雑費	13,510	紙皿・交通費・お礼
次期繰越金	634	企画部預り	次期繰越金	27,724		
合計	575,107		合計	363,000		

会員SINICHI

*退会 212 石原 やま(幸和)
220 美濃口 登(渚)

渚支部、火曜教室開設のお知らせ

渚支部の逗子教場は木曜日の夜のみでしたが2月から左記の通り、火曜日・午前教室も開設いたしました。

- 木曜日 午後7時～午後9時
- 火曜日 午前10時30分～12時30分
- 会場はいずれも逗子コミュニティセンターです。

編集後記

アカデミー賞で「おくりびと」が外国語映画賞を獲得しました。納棺師という日本特有の職業を通し日本の文化、日本人の心が受け入れられたのではないのでしょうか。

詩吟も日本固有の文化です50代には50代の、70代には70代の吟がそれぞれあります。一層研鑽しいつまでも楽しみたいですね。

広報部

21年	3月現在	会員数
葉山地区		126名
逗子・大船地区		93名
合計		219名